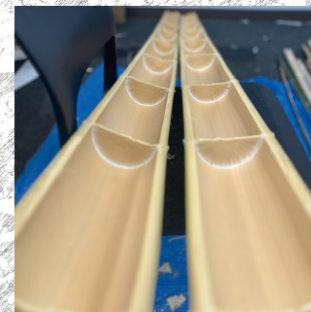


和の発見

福岡県うきは市の300年以上続く竹垣修復作業に参加した。(一列一行目) 毎年一度、親族・地域総出で行われるこの竹垣もやはり人々の営みと密接な関係にあった。

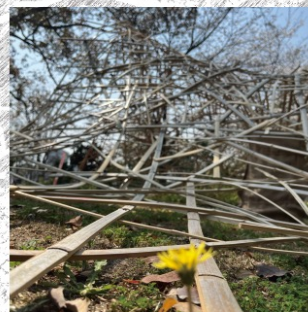
日本の中でも特に竹林が多く分布する九州では、たくさんのたけかんむりが生み出されてきた。そこで、大分県別府市の竹工職人を訪問し竹細工に用いられる伝統技法を学んだ。(二列一行目)



たけかんむりの開発

職人に学んだ手法を組み合わせ、設計した躯体を手がかりに自由な編み込みが空間を形成する手法を開発した。

高齢化と担い手不足に悩む竹林管理者と伐採を行い竹を調達した。手法を検証するためにこの竹林に隣接する小学校で、入学式の花道を作るワークショップを行った。(一列二行目) 低学年の子供達が自由に編み込み、空間化に成功した。



たけかんむりの実装

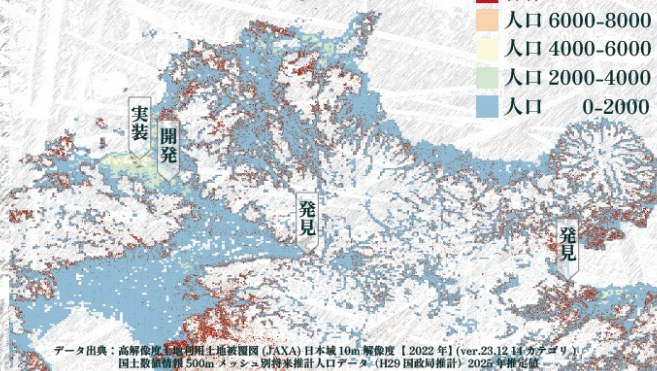
福岡市が企画した国際的な花の祭典が福岡市植物園で開催された。外国人観光客も多く集まるこのイベントの日本庭園ゾーンに、たけかんむりパビリオンを実装した。

5日間の開催期間中に訪れた観光客が躯体に自由に竹を編み込んでいく。国内国外問わずのべ200名以上の人々が参加し、時々刻々と表情を変えながら空間を形成した。

人々の営みがそのまま笑顔あふれる空間として立ち上がる新たなたけかんむりによる和を提案した。



- 竹林
- 人口 6000-8000
- 人口 4000-6000
- 人口 2000-4000
- 人口 0-2000



データ出典：高解像度土地利用土被覆図 (JAXA) 日本城 10m 解像度 (2022 年) (ver.23.12.14 カデゴリ)
国土数値情報 500m メッシュ別将来推計人口データ (H29 国政庁推計) 2025 年推定値